

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	さかいチャイルドサポーター育成事業			事業番号	014-003
担当部署名	子ども青少年	局	子ども青少年育成	部	子ども企画
					課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(1) 妊娠から学齢期まで切れめのない子育て支援の充実	
		寄与するKPI	有	取組の方向性	②多様で質の高い教育・保育サービスの提供			
			無	指標名	—			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	目標値	—	
		寄与するKPI	有	取組	安全安心で質の高い幼児教育・保育の提供、小学校教育との連携			
			無	指標名	—			
		無	現状値	—		目標値	—	
2	関連計画							
3	事業開始年度		平成 27 年度		点検年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)							
子育て支援員研修事業実施要綱								

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	育児経験や職業経験など多様な経験を有し、地域において子育て支援の仕事に関心を持ち、子育て支援分野の職務に従事することを希望する者及び現に従事する者。					
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	子育て支援員研修の受講修了者を増やすことで、子育て支援の担い手を確保する。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	<p>子育て支援の仕事に関心を持ち、子育て支援分野の事業に従事する方及び従事を希望する方に、子育て支援分野に従事する人材の確保等を目的国が定めるカリキュラムに沿った研修等を実施し、事業内容に応じた必要な知識や技能を習得していただく。 研修受講修了者に対しては、修了証書を交付する。</p> <p>【研修コース】</p> <p>①地域型（小規模・家庭的・事業所内）保育事業 年1回 ②一時預かり事業 年1回 ③子育て援助活動支援事業 ファミリー・サポート・センターの提供会員 年2回 ④地域子育て支援拠点事業 年1回 ⑤子育てアドバイザー 年1回</p>					
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	株式会社ポピンズ					
10	公民連携・協働事業						

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度	
11 さかいチャイルドサポーター研修修了証書交付人数	人	目標値	260	125	160		
		実績値	238	73			
		達成率	92%	58%			
当該指標を選定した理由		子育て支援の担い手を増やすことで、子育て施策の充実を図るため。					
目標値の設定根拠・算出方法		対象年度の募集人数を目標値とする。(各コースのニーズ及び昨年度の実績等から算出) 令和3年度は、令和2年度に実施できなかったコースを一部再開する。					
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標		
			令和元年度	令和2年度	令和3年度		
12 研修事業に係る情報発信回数	回	目標値	5	5	7		
		実績値	5	5			
		達成率	100%	100%			
当該指標を選定した理由		担い手を増やすには、本研修を認知してもらう必要があるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		広報さかい、市HP、SNS等、各種媒体を活用した情報発信回数を目標値とする。					

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	さかいチャイルドサポーター育成事業	事業番号	014-003
-------	-------------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

(単位：千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	決算	決算	予算	決算	予算
13 事業費 (a)	12,169	10,000	12,151	3,282	9,241
財源内訳					
国支出金	4,056	4,146	5,222	1,548	3,691
府支出金					
市債					
その他 ()					
受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源	8,113	5,854	6,929	1,734	5,550
14 人件費 (b)	2,460	2,430	2,460	2,460	2,460
15 年間経費(c)=(a)+(b)	14,629	12,430	14,611	5,742	11,701

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源
16 事業費内訳	委託料	R2	決算	3,282	1,734		
		R3	予算	9,241	5,550		
		R2	決算				
		R3	予算				
		R2	決算				
		R3	予算				
		R2	決算				
		R3	予算				
		R2	決算				
		R3	予算				

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
① 研修修了証書交付人数	人	238	73
② 上記①にかかる年間経費	千円	6,576	5,742
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	27,630	78,658
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 新型コロナウイルス感染症の影響により一部研修が中止となったため、見かけ上、単位当たりの経費が上がったように見える。しかしながら、開催された研修において、当初の募集人数に対する研修修了者数は約9割を達成しており、研修を実施した効果はあったと考えている。

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19 ・毎年度本事業を実施することで、子育て支援の担い手を増やし、子育て支援分野に関して必要となる知識、技能等を提供できていることから、子育て支援の充実、安全安心で質の高い幼児教育・保育の提供を行うことができている。
今後も各保育ニーズに応じ、研修体系を見直す等、費用対効果を意識したうえで研修の実施を図る。